

くにみ 議会だより

No.175
12月議会号



さらなる飛躍を期待

1月7日、観月台文化センターでの成人式。成人となった皆さんの活躍が、町の大いなる飛躍につながると期待しています。

12月定例会

国見まちづくり株式会社への 出資金を増額

(平成29年度補正予算) ————— P2

敬老祝金の支給を30年度から段階的に改正(条例改正) — P4
一般質問

(町予算をまとめた冊子の配布についてなど4人が登壇) ——— P6
農業とものづくりの先端技術を学ぶ

(議員視察研修報告) ————— P12

発行 ● 福島県国見町議会 編集 ● 議会広報常任委員会 発行日 ● 平成30年1月30日

〒969-1792 福島県伊達郡国見町大字藤田字一丁田二1番7 TEL.024(585)3295 FAX.024(585)2181 <http://www.town.kunimi.fukushima.jp/gikai>

国見まちづくり株式会社への出資金を増額

道の駅の運転資金として4800万円を計上

12月議会定例会は12月5日から8日まで4日間の会期で開かれました。

今定例会には、道の駅の指定管理者である国見まちづくり株式会社への追加出資金などの平成29年度補正予算、敬老祝金支給条例の一部改正など12議案が提出され、すべて原案どおり可決されました。

一般質問では4人の議員が登壇し、5項目にわたって町政をただしました。

質疑

一般会計

道の駅工事請負費の減額理由は

(松浦和子議員)

道の駅に関し、工事請負費で3000万円の減額となっている。6月に補正した分について半年足

らずでの補正減では、何のための計画だったのか疑問が残る。中央広場の雨対策が取りやめになったと聞いたが、なぜか。

まちづくり交流課長 10月はじめまでに料理長、副

料理長が退職し、運営見直しを余儀なくされた。ビュッフェ中心のメニューに変更したことで、厨房の増築は不要になった。中央広場の雨

対策は、現状で考えていた対策は効果が見込めないと判断し、取りやめとした。

道の駅での雪対策はしないのか

(松浦和子議員)

問

これから雪対策が出てくる。雨対策イコール雪対策かと思っていたが、雨対策を取りやめたことで、雪対策も必要としないと理解しているのか。

まちづくり交流課長 道の駅の施設の屋根の形状は

波形になっていて、雪が降ると国道4号側に落ちてい

追加出資金額の根拠は

(渡辺勝弘議員)

問

国見まちづくり株式会社への出資金4800万円の根拠は何か。また、今後の増額もありえるのか。

まちづくり交流課長 最初に国見ま

ちに5000万円出資して

道の駅の状況について町民への情報発信の考えは

(渡辺勝弘議員)

問

黒字経営になるまで3年はみたいと当初から話があったが、町民は道の駅で売上があれば当然利益も上がっていると思っ

くことが考えられる。施設の屋根の下に、雪を受け止めるひさしのようなものがデザインされ、落雪についてはそれで防ぐことが可能と考えている。駐車場など、人が歩くところについては除雪が大切になるので、まちづくり会社と協力して対策をしていきたい。

いる。道の駅の売上は、月概算で1億円。運転資金として月商に見合う資本が必要と考え、今回の金額となった。また、1億円以上の資本を持つことになると、外形標準課税の対象になる税目があり、逆に不利になる。他の道の駅も1億円未満がほとんどであり、これ以上の追加出資は考えにくい。



▲売上が好調なのは直販部門
(道の駅くのみ市場のようす)

町民に向けての情報発信をすべきだと思うが、どのように考えているか。

副町長

道の駅は町の復旧復興、活性化、交流連携の核であり、町の魅力の発信基地としての大事な役割を担っている。運営については、町民にも理解をいただき、一体になって進めていかなければならない。町民にどのような方法

でお知らせすればいいのか、十分に検討して対応したい。

増資による今後の資金繰りの見通しは

問

(佐藤定男議員)

国見まちづくり株式会社平成29年9月の貸借対照表からは流動資産が不足している状況が見取れる。今回の4800万円の増資で運転資金にある程度余裕が出ると思うが、まだまだ厳しいのではないかと今後の資金繰りの見通しを伺う。

まちづくり交流課長

道の駅全体で

直売部門が売上を引っ張っている。棚を空にしないように、収穫の少ない時期の野菜や県内のおみやげ品の仕入れでどうしても買掛が多くなってしまうが、本当に売れるものをきちんと精査をすることで改善を図る。

あくまでもシミュレーションだが、増資によって当面の運転資金は確保できると考えている。不足するよ

うな場合は、一時的に金融機関からの短期的な借入れなどにより対応するようになると思う。

将来的に一般の出資を募る考えはあるか

問

(八島博正議員)

国見まちづくり株式会社への4800万円の増資について、今回の増資が良いのかどうかの判断の前に、当初の計画が甘かったと思う。道の駅の売上は年間総額で8億6000万円ほどの計画で、当初の倍以上の数字になっている。

今の経営状態の中で町が追加出資をするのは当然だと思う。町の利用者は全体で8%くらいと聞いたので、一般会計からではなく、ふるさと納税がベースの特定財源であるふるさと振興基金から支出するのは良い方法である。1日も早く経営が安定し、町で100%出資しなくても、他の人が喜んで出資できるようにしていくのが将来の課題である

と思う。将来的に、一般からの出資金を募集するつもりはあるのか。

町長

数字だけ見ると、描いていた交流連携、町の維持発展の核の施設になりつつある。出資については、町の施設であり、現在は町が全額出資している。今後は、経営

の安定化を図り、町民や周辺の方などからご支援をいただき、前に進めるような道の駅の体制にしていくのが筋だと思っている。道の駅の活性化が町の活性化に必ずつながると思っているので、そうなるように対応していきたい。

平成29年度一般会計補正予算(第5号)のおもな内容

【おもな財源】	【おもな事業】
<ul style="list-style-type: none"> 前年度からの繰越金 1億6597万円 ふるさと振興基金からの繰入金 1800万円 地方交付税 1252万円 災害援護資金の返還金 668万円 国・県からの補助金(障がい者自立支援給付費の減など) △167万円 その他(老人福祉施設入所者負担金など) 244万円 	<ul style="list-style-type: none"> 町債(借金)の繰上償還 1億5587万円 国見まちづくり(株)への出資金 4800万円 災害援護資金貸付金の返済 668万円 歴史公園(ハス池)整備へ向けた分析業務委託費 216万円 地域福祉計画・自殺対策推進計画策定の事前ニーズ調査費 211万円 県北中学校の部活動補助金 201万円 道の駅国見あつかしの郷施設改修工事費 △3000万円 その他(障がい者自立支援・障がい児入所給付費等の返還金など) 1711万円
計 2億394万円	計 2億394万円

条例改正

敬老祝金の支給を30年度から段階的に改正

敬老祝金支給条例

(要旨) 高齢化の進展に伴い、対象者数や支給額が増加傾向にある。近隣市町村と比較しても高い水準にあるため、適正化を図る。

【支給される祝金の額】

現行	改正後(平成30年4月1日より)
<ul style="list-style-type: none"> ●85歳以上：毎年1万円 ●99歳以上：毎年20万円 	<ul style="list-style-type: none"> ●90歳：1万円 ●99歳：5万円 ●100歳：20万円(施設入所者は5万円) ※経過措置 平成30年度から3年間、毎年98歳まで5千円、101歳以上に5万円を支給。開始年齢は毎年1歳ずつ繰り上げる。



問 (浅野富男議員) 今回の改正は検討委員会に基づいてのものだが、どのような提言があったのか。

保健福祉課長 委員会では、さまざまな状況を踏まえ、減少見込みの将来世代の不安を少しでも取り除くためにも、事業の見直しはやむを得ないとの結論に至った。毎年の支給は祝金としてなじまないことや近隣市町村の状況も踏まえ、見直し案が検討された。段階的な減額をとの意見があり、3年間の経過措置が提言に盛り込まれた。さらに、見直しで生み出された財源を活用した事業も検討され、高齢者の健康寿命の延伸に向けた事業、生きがいづくりなど、具体的な事業の提案があった。

問

(浅野富男議員) 毎年の祝金を楽しみにしていた方もいる。財源はいくら浮いたのか。

保健福祉課長 は、現在の事業費は、記念品も含め概算で約1千万円である。このままだと3年後には約1200万円になる見込みである。見直し後の経過措置期間中は約600万円、経過措置後は約300万円になり、1千万円近い額が減額の見込みである。

議会傍聴をしてみませんか

次の定例会は3月1日開催予定です

- 手続きは簡単です!**
受付簿に住所・氏名などを記入するだけで気軽に傍聴できます。
- 議案資料を準備します!**
議案審議がわかりやすくなるよう、傍聴者には議案資料を提供します。詳しくは議会事務局へお問い合わせください。TEL 585-3295(直通)

討論

反対討論

(井砂善榮議員)

日本経済の発展に戦前、戦中、戦後と努めてこられた皆さんであり、今見直すのは時期尚早ではないか。我々は、高齢者の方々に対するご褒美として祝金を支給する責務があると考え反対する。

賛成討論

(佐藤定男議員)

改正後も、他町村と比べ対象者、支給額ともに劣るものではない。生み出された財源は健康寿命の延伸に向けた事業などに充てられ、改正後も高齢者に対する敬意と感謝の精神は維持されていくものと考え賛成する。

(浅野富男議員)

高齢者や子どもへの施策は、福祉政策の重要な課題である。この改正は高齢者施策の後退につながる。近隣と比較せず、町の独自施策でもいいのではないか。どうしても財源が必要となったときに理由を挙げ改正されるべき条例でなければならず、今回のような改正のしかたには反対する。

(松浦常雄議員)

近隣では祝金が国見町ほど高額なところはなく、以前から見直しが必要とされていた。人口減少社会で税収が少なくなる中、敬老祝金だけ見直さずについていいのかと考えると、財政全体の中で検討すべきことであり、この内容に賛成する。

(渡辺勝弘議員)

高齢者の生活をより良くするために有効に財源の活用をお願いしたい。一時的な支給ではなく、長い目で見てこれから先の生活のための改正と考え賛成する。

町長の行政報告（抜粋）

■東日本大震災からの早急な復旧・復興

●除染対策事業

・公共施設保管の除去土壌は、仮置場への搬出が完了し、環境省で中間貯蔵施設への運搬が開始された。

●風評対策トップセールス、特産品PR事業

・岐阜県池田町「みの池田ふるさと祭」や東京都羽村市の産業祭などで風評払しょくと交流に努めた。

・特別栽培米としてブランド化を目指す「くにみ米」は、各種イベント会場で試食販売会をするなど一層のPRに努める。

●あんぽ柿の産地再生に向けた取り組み

・11月20日から全量非破壊検査を実施し、出荷が開始された。

■安全安心な町政の実現

●災害時における相互応援協力

・11月10日、道の駅を通じ交流連携を深めている栃木県茂木町と、隣接県の自治体とは初めて災害時相互応援協定を締結した。

●鳥獣被害対策

・野生鳥獣侵入防止柵は、石母田地区から貝田地区までの7.6キロメートルで年内に設置が完了する予定である。

■活力ある町政の実現

●道の駅国見あつかしの郷

・10月3日に来場者100万人を達成、11月末時点で約127万人となっている。県外からも数多く訪れており、交通の要衝としての国見町の特性をいかに発揮している。

●義経まつり

・9月23日に開催され、義経公役に俳優の「西銘(にしめ)駿(しゅん)」さんを起用した。新たに道の駅国見あつかしの郷も会場として回遊性を高め、県内外の多くの方が来場した。

●復興・絆・イルミネーション

・11月23日の点灯式では、ライブやペンライトアートを実

施した。イルミネーションは道の駅国見あつかしの郷を幻想的に彩り、来場者の心と心をつなぐ灯りとなった。

■思いやりのある町政の実現

●子育て支援事業

・「くにみもたん広場」と道の駅に開設の「つながる～む」との連携により、子育て支援の充実した施設となっている。

■町の継続的な維持発展

●歴史を活かしたまちづくり

・11月23日、「大木戸歴史むらづくりの会」との共同企画「あつかし歴史祭」が開催された。

・初めての取り組み「くにみ周遊ツアー」は、秋のくにみご案内ウィークとして、道の駅で国見町の見どころを案内した。

●東京くにもみ会

・11月18日、町にご縁のある約200名の皆様や国見町応援大使の沢木順さん、木住野佳子さんの参加で有意義な「人とモノ」との交流ができた。

●くにみ農業ビジネス訓練所整備事業

・現在、研修施設の建築工事、トマト養液栽培施設である鉄骨ハウスの建設工事、農場の造成工事を進めている。

●地域学校協働活動事業

・教育委員会が進めている「地域学校協働本部」が文部科学大臣賞を受賞することが決定した。

●幼小中一貫教育推進事業

・11月1日、くにみ幼稚園の5歳児、国見小学校の児童、県北中学校の生徒674名が一堂に集まり、全員で「国見音頭」を踊り交流を深めた。

・11月25日、「教育フォーラム2017」を開催し、国見小の児童と桜の聖母短期大学とのワークショップの成果である「道の駅をもっとすてきに」の発表を行った。

行政指導の方式 などを規定

行政手続条例

（要旨）行政手続法の一部改正により、行政指導の方式、中止の求め、処分等の求めについて規定する。

個人情報の定義を より明確に

情報公開条例

（要旨）行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律の一部改正により、個人情報の定義を明確化する。

個人情報の取り扱い 規定を追加

個人情報保護条例

（要旨）行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律の一部改正により、個人情報の定義を明確化する。とともに、要配慮個人情報の取り扱い等を規定する。

議案審議 結果

※下記以外の議案は全員賛成で可決されています。

議案等	議員名	議決結果	松浦和子	村上一	井砂善榮	佐藤定男	村上正勝	渡辺勝弘	松浦常雄	阿部泰藏	浅野富男	八島博正
議案第50号 国見町敬老祝金支給条例の一部を改正する条例		可決	○	○	●	○	欠席	○	○	○	●	○

○：賛成 ●：反対 □：討論者
※議長（東海林一樹）は採決に加わらない。

～4人の議員が登壇し、活発な議論を展開～



町政を問う

一般質問

12月定例会

議員	質問事項	ページ
佐藤 定男	町民に予算をわかりやすくまとめた冊子を配布しては	7
渡辺 勝弘	川内新割地区の冠水被害を最小限に抑えるための対策は	8
浅野 富男	各種団体への財政的支援の考え方は	9
	紙おむつ支給事業を使いやすい制度に	
松浦 和子	人口増につなげるための企業誘致の考え方は	10

質問、答弁は要約して掲載しています。会議録全文は、町議会ホームページに掲載予定です。[<http://www.town.kunimi.fukushima.jp/groups/gikai/>]

国見町議会ホームページ → 会議録検索 → 会議録検索システム → 会議録検索システムへ

一般質問とは、議員が町政全般にわたり執行状況や将来に対する方針など、諸問題について質問を行い、政治姿勢を明らかにするものです。

Q 町民に予算をわかりやすくまとめた冊子を配布しては

A 「広報くにみ」の予算記事を別冊にして対応したい



佐藤定男議員

問 町政はすべて予算に基づいて執行されている。しかしこの予算を町民は果たしてどの程度理解しているのか、専門用語もあり、わかりにくいと感じているのではないかと思う。

予算の内容を町民に周知させる手段は「広

報くにみ」の他に何かあるか。

総務課長 町の広報紙のほかに、ホームページを活用している。さらに、町長が各種会議で必要に応じ内容を説明している。

問 議会報告懇談会においても財政健全化判断比率や借金額などの質問があった。町としては町民が予算について十分に理解していると思うか。

総務課長 広報紙で毎年4ページを使い、内容をわかりやすく丁寧に記載している。また、ホームページでも予算のポイントについて、編成の基本的な考え方や主な事業、各会計の予算の概要などを説明も加えながら掲載している。町民の皆様にも一定の理解は得られているものと考えている。



議会報告懇談会でも予算への質問がたくさん出されます

現在検討中だが、来年度は広報紙の予算部分だけを取り出してわかりやすく別冊にしたいと考えている。また、5月には、町民向けの予算の説明会を開催するよう調整して

問 北海道二セコ町や福島県飯館村などでは、予算書の内容をわかりやすくまとめた冊子を作成し、各家庭に配布して好評を得ている。二セコ町では、予算は本来町民のものであり、わかりやすく説明する責務があるとの考えから冊子を作成したと聞いた。

飯館村では、平成29年度版は中学生にも配布し関心を高めている。国見町でもわかりや

すい予算書の冊子を作成し配布してはどうかと考えるが、町の所見を伺う。

町長 予算はまさに町民のものであると考えている。町予算の内容を知ってもらうことは、町政の課題の周知、行政の説明責任の上で重要なことだと思う。私自身が予算内容をわかりやすくまとめたものを使い、町内会長連絡協議会などの各種会議で説明している。

いる。町民と「見る、聞く、考える」のサイクルで進めることで、なるべくわかりやすい予算になるよう対応したい。

問 予算審議の内
部資料として「個別の主要施策の概要」が作成されている。これを見ると事業費用、財源、事業内容がひと目でわかるようになってきている。大変な労作であり、基礎データは既にできている。

これを生かして編集すれば、それほど難しい作業とは思わないのが所見を伺う。

総務課長 冊子を別冊にするとなると相応の費用もかかる。町長の答弁にあったように、広報紙に予算のダイジェスト版を差し込んで理解を深めるようにしていきたい。

Q 川内新割地区の冠水被害を 最小限に抑えるための対策は

A 町全体の問題として協議を重ね対応 していく

問 今年、台風で川内新割地区の農用地が冠水した。湛水防除施設の設置当時、町内会、地元消防団、行政が協議を重ね、現在も地元消防団が排水ポンプの稼働を行っている。その後の変化を踏まえ、協議を重ねているのか。

課長 現在、排水活動の主体となっている消防団と協議を行っている。

課長 消防団を取り巻く状況や地球温暖化に伴う気象変動など、ポンプ設置当時と現在では変化している。地元住民とも内水排除のため協議の場を設けることも必要だと考えている。

問 消防団との協議は行っているようではあるが、町内会との協議は行わないのか。

課長 排水ポンプが稼働する前、6月の梅雨入り前が適切と考えている。

問 設立当時のように地元住民との協議が必要である。冠水が起きそうな時期の前に協議を開くべきではないか。

課長 排水ポンプが稼働する前、6月の梅雨入り前が適切と考えている。

問 伊達市梁川町には常設排水管がすでに設置されている。国見町での常設も可能ではないか。

課長 梁川大橋のたもとに排水ポンプ・排水管が常設されている。平成22年に阿武隈川の管理者である国土交通省の許可を受け河川法に合

問 平成26年度より川内町内会から湛水防除施設の排水管（ホース）の常時設置について要望があったが、その後の状況は。

課長 河川管理者である福島県が河川法に基づき許可要件を満たすことが求められている。相当の協議期間と事業費が必要となるため、引き続き県と協議していきたい。

問 地元から、消防団員のなり手不足や高齢化により消防団での対応が困難であると意見が出ています。台風や大雨の被害を最小限に抑えるための対策は。

町長 仕事の都合などで消防団の構成が変化してきていることも事実である。施設を最大限に活用するため、増水時の初動体制の見直しや排水活動の手法など、消防団全体で協議を進め排水活動の共有を図りたい。

常設の排水管については、河川改修計画などと連動させながら粘り強く要請したい。地区固有の問題としてではなく、町全体の問題として考え、防災協定を結んでいる土木建設業協会との連携も視野に入れ、全体的に対応していくのが望ましいと考えている。



渡辺勝弘議員

る前、6月の梅雨入り前が適切と考えている。

許可を受け河川法に合

活動の共有



川内新割地区の冠水時のようす

Q 各種団体への財政的支援の考え方は

A まちづくり推進協議会の事業枠で支援をしたい



浅野富男議員

問 町内には、スポーツ、文化など自主的な団体が広範囲の分野で活動している。団体の活動には規定の中で補助金を交付しているが、活動に対する評価の視点はどのようなものか。

総務課長 各種団体は、活動量、活動人

員、地域性など設立にさまざまな背景があるため、町として何らかの評価をすることはできないが、交付申請書や実績報告書で活動内容は確認している。

問 補助金はどのような考え方で支出するのか。

総務課長 補助金は、建物などの建設時に一部補助するハード的なもの、運営経費などを一部補助するソフト的なものに分けられる。ソフト事業では、新設された団体が継続かつ安定的に活動できるように設立初期段階に交付しており、運営支援的な意味合いが強い。

問 継続的、安定的な活動が要となるが、評価をする場合、それが補助金額の多少にもつながるのか。

総務課長 各種団体に対する補助金額は、団体の規模、活動

状況、その時点での財政状況なども含め、その都度総合的に判断の上で算出している。

問 活動の仕方が活発なところに補助金が必要ではないかと考えているが、いかがか。

総務課長 団体の活動が地域の活性化に大きく寄与するなど、一定程度の広がりを持つことが十分に見込まれる場合などに増額は可能である。まずはどのようなようなビジョンを持って活動していくかを明確にし、積極的に活動の実績を作ることが必要と考える。

問 町の周辺部については、特に一つ一つの事業などを重要視した支援が必要と考える。町の財政的支援の考え方は。

町長 周辺部に対する財政的支援については、旧小学校を子育て、福祉、歴史の機能を持たせた施設として地区の活性化に努めてきた。各団体への財政的支援については、その事業内容について申請してもらったこと、具体的な実績が必要となる。今後コミュニティ活動についても活性化を図るという観点から、まちづくり推進協議会の中に

地域コミュニティ育成事業枠があり、その枠の中で財政的支援をしていきたい。

※その他、以下の質問もありました。

紙おむつ支給事業を
使いやすい制度に

- 支給件数と配送の費用は
- 介護者に対するアンケートの内容は
- 利用者がパットの選択をできる制度にはならないか



さまざまな団体の活動成果の披露の場にもなっています(町文化祭)

Q 人口増につなげるための企業誘致の考え方は

A 財政基盤など課題も多く体制づくりの時期と考える

このチャンス逃さず、企業誘致に力を入れ、人口の増加につなげるべきと思うが、町の考えを伺う。

に空き家が増加し、地域の物件価値の低下も懸念される。
桑折町の上場企業が、本社工場から約200人を配置転換させると聞いた。独身寮の建設計画があるが、30歳を過ぎると寮を出ることになるそうである。そういう些細なことでもチャンスと捉えてアクシジョンを起こすことが大事と考えるが、いかがか。

年のまち」としての取り組みは、少子化対策、人口減少対策を抜きには不可能なことを考えるが、町の考えを伺う。

問

町にはサービ
スエリアがあ
り、役場庁舎も完成、
まちづくりの拠点とな
る道の駅国見あつかし
の郷もオープンした。

になりつつあるが、町の人口減少に歯止めがかからない。町が考えている企業誘致への対策と取り組みについて伺う。

企業情報 課長

比較的大きな土地を必要とする工場などについては、現在町の所有地はなく、既存の工

また、公立藤田総合病院があり、教育でも幼小中一貫教育が注目されている。住環境が整備され、住みやすい町

業団地もすでに活用されている。市街化区域内にまとまった用地を確保できず、積極的に企業誘致をする状況にはない。小規模な用地で済む事業所なども民間の土地所有者との交渉になり、直ちに動き出せる状況にはない。一方、年に数件、用地確保の照会もあり、個別に対応している。国の助成制度や町内立地企業との懇談会などでの意見要望も踏まえながら対応している。

問

一方では個人
住宅の新築が増
加し、昨年の着工件数は3年ぶりの高水準と公表された。背景には、低金利の持続や消費税増税前の駆け込み需要があると言われているが、着実に増加している。その反面、全国的

問

町では、他に人口減少、少子高齢化対策で計画ののっとりて施策を実施している。その中で企業誘致が本来にできるのか、工業団地の造成となると数億円単位で費用がかかることもあり、慎重に検討を重ねる必要がある。

問

国の経済に目を向けると、景気が拡大基調である。

問

町が掲げる「1000年のまち。これから100

今後とも総合的な人口減少対策に地道に取り組みたい。



松浦和子議員

産業建設

冠水被害のある 地区の湛水防除 施設を確認

10月11日、住民生活課所管事務調査として、川内新割地区の湛水防除施設を現地確認しました。



どのような設備を使用しているのか実際に確認

川内新割地区は低地で雨が降ると冠水する地形であることから、平成11年にポンプ3台を設置して地元消防団の協力のもとで排水活動を行っています。

設置当時と状況も変わり、現在は人員確保も困難な状況になっています。また、阿武隈水系に250ミリ以上の降水があった場合、現在の3台の排水ポンプでは対応できません。そのため、今後常設の排水設備を整える

など、施設の見直し、充実が求められます。

しかし、莫大な予算確保が困難ななどの問題もあり、町内会、地元消防団、町との協議を図り、抜本的な解決を目指すべきと考えます。

空き家対策では 状況により代執行も可能に

12月8日、建設課所管の町の空き家対策について、国の空き家対策特別措置法の制定と、国見町の現況と今後について調査をしました。

町の空き家178戸のうち、対策が必要な空き家が35戸あります。空き家による悪影響もあるため、町の法定協議会で審議され、特定空き家に認定されると指導・助言、措置命令などの行政指導がなされ、猶予期間を過ぎると代執行も可能になります。制約がある中でも、空き家の利活用など知恵を絞って町独自の対策を講ずることも必要と考えます。

(報告者 井砂善榮)

総務文教

新しい施設の完成で町の高齢者福祉が充実

10月25日、地域密着型の特別養護老人ホーム「国見の杜」とグループホーム「国見の丘」の両施設を、11月1日のオープンに先立ち、保健福祉課所管事務調査として視察しました。

この2つの施設は、国の補助事業を受け、国見の里を運営する社会福祉法人「厚慈会」により同敷地内に建設されました。両施設とも地域密着型で、国見町民が優先されるものです。

「国見の杜」は特別養護老人ホームで、4人部屋が7室と個室が1室の29床の規模です。入居料は要介護1の8万6610円から、要介護5の9万4620円の5段階になっています。

「国見の丘」は認知症を中心としたグループホーム

で、全て個室の18床の規模になっています。

両施設とも和風木造平屋造りで、木の温もりや採光をはじめ、住環境にも十分配慮されたすばらしい建物です。

施設の完成によって、国見町は、桑折町や伊達市など近隣市町から遅れを取っていた高齢者福祉対策の施設も肩を並べるようになります。今後は内容の充実や運営に力を入れていくこととなります。

(報告者 八島博正)



厚慈会職員から施設の概要について説明を受けました

農業とものづくりの 先端技術を学ぶ

11月13日から14日の2日間、愛知県名古屋市近郊に議員視察研修に行ってきました。平成30年に町に「くみに農業ビジネス訓練所」ができることもあり、先端農業技術について実証施設の視察も含めて学んだほか、名古屋市近郊での先進的なものづくり技術について視察をしました。

①(株)デンソー農業機器実証施設

統合環境制御(プロファーム)を取り入れたトマトの水耕栽培を視察しました。ハウス内の温度、湿度、CO₂、光が最適な環境条件に保たれ、ハウス内の状況はコントローラーパネルで瞬時に確認ができます。日本特有の小規模な農地面積に適したシステムの実用化が求められ、開発・販売をしています。

②(株)デンソー本社展示施設

そもそもは自動車部品のメーカーですが、それ以外で世の中に貢献できることではないかと検討し、開発を進めています。その1つが農業支援事業です。鮮度維持冷蔵機器は、青果物が凍る直前まで品温を落とすことで、従来の倍の期間鮮度を維持できます。



(株)デンソー本社で技術の詳しい説明を受けました

③とよたエコフルタウン

豊田市が運営する施設で、「市民」「地域」「企業」が力を合わせ、無理なく、無駄なく、未来環境都市をつくるための取り組みを視察しました。低炭素社会の実現を目指した様々な分野の先端技術を体験でき、ハチヤクモなど生物の生態から学んだ技術が環境に優しい製品を生み出しています。

④トヨタ会館と工場見学

一番感心したのは、3万個とも言われる部品の供給に工夫があることです。工場では独自の「かんばん方式」を採用し、人気車種では1台の車に1人がかける作業時間はわずか60秒です。また、社員の声を大切にして職場環境の改善に生かしており、作業では「ジャストインタイム」*「自動生産活動」の徹底により成長を続けています。さまざまな企業がトヨタのノウハウを見習い、実践しているのもうなずけます。

※1 かんばん方式とは
トヨタ自動車が開発・実施している生産管理方式で、在庫をできるだけ持たない仕組み。「かんばん」とは、部品納入の時間、数量が書かれた作業指示書のこと。

※2 ジャストインタイムとは
「必要なものを、必要なときに、必要なだけ」生産または調達する方法のこと。

(株)デンソーの農業技術はとて不思議な感じがしますが、価格が高く、個人で容易に導入できるものはありません。設備に多額の費用がかかることが最大の難点であるため、国や県の補助金でこの点を克服できれば、農業収益を大幅に向上させ、農業に明るい展望が開けると思います。

また、それぞれの施設では地球環境に配慮した開発がなされており、企業だけでなく私たち一人一人が、しっかりと将来を見据えて考える必要があると感じました。

(報告者 東海林一樹)

12月議会を傍聴したみなさんからアンケートによりたくさん さんの意見をいただきました。(抜粋)

- 質問も答弁も、一人一人の言葉で丁寧に話されており立派である。(90代・男性)
- 答弁について、逃げとまでは言わないが、意欲的な取り組みが足りない。(80代・男性)
- 傍聴者が同じ顔ぶれで、人数が少ない。(70代・男性)
- 4人しか一般質問者がいないのは、町のこれからについて考える意欲がないのだろうか。(80代・男性)
- 議員一人一人が、日々自分磨きが必要だと町の皆さんが言っている。私も同感だ。(不明・女性)
- 各種団体の助成金について、何年かに一度見直しがあってもいいのでは。(70代・男性)
- 社会教育、公民館事業の機会の公正・明確化を図ってほしい。(80代・男性)

- 消防団のなり手不足は解決できないとのことだが、元消防団員や元消防署員に体力の続く限りお手伝い願ってはどうか。(70代・男性)

※一部事務組合報告

※一部事務組合とは
複数の市町村などで行政サービスの一部を共同で行うために設置する組織

入院患者減などで 厳しい医療環境

藤田病院組合議会

10月12日、第2回議定会
例会が開催され、平成28年

議会の動き

12月5日	12月議会定例会(～8日)
12月5日	総務文教常任委員会、産業建設常任委員会
12月6日	広報常任委員会
12月8日	議会運営委員会、産業建設常任委員会
12月13日	総務文教常任委員会、町表彰祝賀会
12月14日	第22回義経まつり第4回実行委員会
12月16日	町青少年健全育成推進町民大会
12月19日	伊達郡町村議会各町議会議長会議(福島市)
12月21日	「国見あつかしさん」完成お披露目会
12月23日	あつかし山ビッグツリー点灯式
12月26日	町ラッピングバスお披露目式、 公立藤田病院組合議会臨時会
1月4日	町職員表彰式、町新春賀詞交歓会
1月5日	交通三団体交通安全祈願祭(桑折町)、広報常任委員会
1月7日	町消防団出初式、町成人式
1月10日	知事懇談会(福島市)、国見地区建築業組合定期総会
1月12日	広報常任委員会
1月17日	広報常任委員会
1月18日	県北浄化センター環境保全協議会
1月19日	議員懇談会

度の決算認定、職員の育児休業等に関する条例の一部改正の2件が審議され、可決されました。

平成28年度決算認定では、入院患者の減少で経営状況が厳しくなる中、職員が一丸となり経営改善に努めました。2549万円の赤字計上となりました。

◆ 平成28年度決算認定

収入 1億6882万円

支出 58億7792万円

◆ 資本的収支決算額

収入 58億5243万円

支出 58億7792万円

財政調整基金積立 金などを増額補正

伊達地方消防組合議会

10月24日、第2回議定会
例会が開催され、平成28年度の決算認定、財政調整基金の積立金などの平成29年度補正予算の2件が審議さ

支出 4億6187万円
(収支差引不足分は、過年度分損益勘定留保資金で補いました。)

(報告者 村上 一)

桑折町の紺野氏の 監査委員選任に同意

伊達地方衛生処理組合
議会

10月24日、第2回議定会
例会が開催され、平成28年度決算認定、平成29年度補正予算、監査委員の選任への同意など7件が審議され、すべて可決されました。

監査委員には、紺野範明氏(桑折町)の選任に同意しました。

れ、可決されました。

平成28年度決算認定

収入 16億8003万円

支出 16億4968万円

(報告者 渡辺勝弘)

平成28年度決算認定

歳入 46億1032万円

歳出 45億9984万円

(決算額は一般会計、し尿処理事業特別会計、ごみ処理事業特別会計の合計)

(報告者 八島博正)

わたしの初夢

昨年、「私もひと言」への寄稿を依頼されたこともあり、私なりに年頭に当たって思いを巡らせてみました。

まず昨年オープンした「道の駅」についてですが、2年後の東北中央自動車道（相馬～米沢間）の開通により、相馬、米沢の自治体等との広域連携をキーワードに、観光とも絡めた「道の駅」を、今後ますます充実させていくことが、これからの課題のひとつになるかと思えます。

また、公立藤田総合病院の医師不足対策には、高額な予算措置が必要になりますが、給付型の修学・奨学金の創設が図られれば、医師になったときに当病院でその力をいかに発揮してもらえらること

から、産科、婦人科などの診療充実をお願いしたいところであります。

私も、サラリーマンから家業である農業を継いでまもなく丸3年になりますが、農家の高齢化の進行と後継者不足の現状の中、リスクを意識しつつ、集落営農の組織化による農業生産基盤の維持を図りながら、新たな農作物の生産や6次化商品の開発など、他の生産地との差別化を図っていかねばならないと思っています。

若者や子どもたちが「夢や希望」をもって、若いお母さんたちが安心して子どもを産み育てることができ、働く世代のお父さんたち、お年寄りの方々が充実した毎日を過ごせる国見町を創っていくことが、今日まで国見町を創り上げてくれた先輩方から、これから国見町の未来を担う若者子どもたちにつなげる役目の私たち世代に課せられた使命でもあると、気持ちを新たにしたいところであります。



小林聖治さん
(原町町内会)

農業などの先端技術を学ぶ

議員視察研修
(名古屋方面)

11月13日から14日の2日間、愛知県名古屋近郊で、農業やものづくりの先端技術について視察研修を行いました。福島県名古屋事務所長および職員のご案内により、先進的な企業で説明を受けました。(詳細は12ページをご覧ください。)



なかなか入れない株デンソーの農業機器の実証施設を見学しました

編集後記

明けましておめでとございます。そして成人式を迎えた95人の皆様、誠におめでとうございます。希望に満ちた前途にエールを送ります。さて、東日本大震災から間もなく7年が経過しようとしています。

昨年は待望の道の駅「国見あつかしの郷」がオープンしにぎわいを見せています。復興のひとつの区切りと言えるでしょう。

しかしながら町の振興、少子高齢化問題は今後とも大きな課題です。生まれ育ち、住んでよかったと言える国見町を目指し、議会も新しい年を迎えて改めて気が引きしまる思いです。

今年もよろしくお願いいたします。(井砂 善榮)

発行責任者

議長 東海林一樹

広報常任委員会

委員長 松浦 和子

副委員長 村上 正勝

委員 東海林一樹

委員 八島 博正

委員 佐藤 定男

委員 井砂 善榮

